

地域総合

新庄市北町に十五年前に空手道場を構えた岸信行さんは、今も現役で、実戦的な空手を教えている。誕生日の十日には還暦を祝い、幼少時代の思い出が残る同市飛田の熊野神社で奉納演武を披露。米国二ユーヨークから弟子たちも駆け付け、気迫あふれる演武に、地元住民から大きな拍手が送られた。

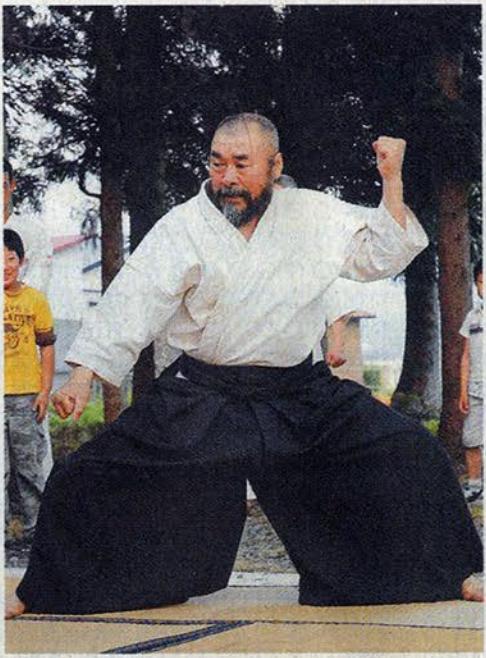
岸さんは小学生の時に高校生の演武を見てから空手に魅せられ、高校卒業後には極真会館に入門。台湾やルーマニアを訪れ、空手の普及に尽力し、三十歳の時

還暦祝い 空手奉納演武

米国から弟子も駆け付け

にニューヨークで「岸空手」を確立した。

岸さんは、六十歳は原点に戻る一つの区切りで、これまで無事に生きてこれた感謝の気持ちを伝えたいとして、奉納演武を企画。地元の神社で行われた演武では、形を披露し、厚さ約三十五の水柱割りに挑戦。二段重ねの水を手刀で割ると、約百五十人の観客から歓声が上がった。



還暦を祝い、見事な演武を披露する岸信行さん

=新庄市・熊野神社

久保桜の樹勢回復作業

長井で伊佐沢桜会会員ら

長井市伊佐沢にある国指定天然記念物の久保桜で十二日、特殊な施肥を使つた樹勢回復作業が行わされた。

久保桜は樹齢千二百年といわれ、近年は樹勢の衰えが見られるようにな

る。郎さんら樹木医四人の

指導で、伊佐沢桜会(山田儀重会長)の会員らが、碎いた炭と割り竹を木の周囲三十カ所に埋め、その周りに腐葉土と炭を七対三の割合で詰め込む作業を行つた。

竹の中には即効性の液肥を流し込み、竹と炭で

通気性を良くすることを目的で、地中の発根を促す効果があるという。池本さんは「施肥によつたため、市教委が十年ほど前から回復作業に取り組んでいます。二年前からは幹の空洞部分に不定根発生を促す『外科治療』も行つた。

今回は横浜市の池本三郎さんら樹木医四人の

意見発表会・寒河江業高校長の意見発表会が十一日、寒河江市の寒河江高農業校舎で開か

れ、県内の農業高などで学ぶ生徒らが将来の夢や農業への思いなどを堂々と主張した。

県内七つの高校から代

夢や思い 堂々と

県学校農業クラブ連盟
意見発表会・寒河江

の意見発表会

が嫌だったという女子生徒は、安全で安心できる

環境で、地元の農業高などでも、安全で安心できる

環境

いと夢を語り合った。県内の農業高などで、安全で安心できる

環境

環境

が嫌だったという女子生徒は、安全で安心できる

環境

環境

表生徒二十五人が出場。「食料」「環境」「文化・生活」の三部門に分かれ、一人七分以内で熱弁を振るつた。

県立農業和夫副校長

池本三郎さん(左)ら

と主張した。

り組む男子生徒は、安全で安心できる

環境

いと夢を語り合った。県内の農業高などで、安全で安心できる

環境

環境

環境

大沼清寿会長の観光サクランボ園開園式が十二日、同市上野の伊藤観光果樹園で行われた。同会に加盟している三十

七のサクランボ園はこの

日から順次オープン。全

体で二〇〇七年の二万人

を上回る誘客を目指す。

生産者約五十人が出

トを行つた後、赤湯ふた

まで楽しめた。

七のサクランボ園はこの

日から順次オープン。全

体で二〇〇七年の二万人

を上回る誘客を目指す。

生産者約五十人が出

トを行つた後、赤湯ふた

まで楽しめた。

作柄良く優れた品質

南陽・観光サクランボ園開園

七のサクランボ園はこの

日から順次オープン。全

体で二〇〇七年の二万人

を上回る誘客を目指す。

生産者約五十人が出

トを行つた後、赤湯ふた

まで楽しめた。